

[異常時通報連絡の公表文（様式 1-1）]

伊方3号機 エタノールアミン排水処理装置ガス希釈ファンの不具合について

R 4. 2. 10

原子力安全対策推進監

電話番号 089-912-2352

[異常の区分]

国への法律に基づく報告対象事象		有 ・ 無 [評価レベル -]
県の公表区分		A ・ B ・ C ・ P P
外部への放射能の放出・漏えい		有 ・ 無 [漏えい量 -]
異常の概要	発生日時	令和4年1月7日 11時10分
	発生場所	1号・2号・ 3号 ・共用設備
		管理区域内 ・ 管理区域外
種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備の故障、異常 ・ 地震、人身事故、その他 ・ 核物質防護 	

[異常の内容]

1月7日(金)11時44分、四国電力(株)から、伊方発電所の異常に係る通報連絡がありました。その概要は、次のとおりです。

- 1 伊方発電所3号機は定期事業者検査にて調整運転中のところ、エタノールアミン（ETA）排水処理装置で発生するガスを希釈するために設置されている2台のファンのうち、1台に異常があることを、1月7日(金)11時10分、保修員が確認した。
- 2 なお、本事象によるプラントへの影響及び環境への放射能の影響はない。

[復旧状況等]

1月24日(月)17時13分、四国電力(株)から、復旧状況等について、次のとおり連絡がありました。

- 1 その後、調査の結果、当該ファンの主軸とプーリー*の接触面に摩耗が認められたため、当該ファンの主軸、プーリー及びその他構成部品を取替え、ファンの試運転を行い問題ないことを確認し、1月24日(月)16時57分、通常状態に復帰した。
※ ファンの軸にモーターの動力を伝える部品
- 2 引き続き詳細を調査する。

県では、原子力センターの職員を伊方発電所に派遣し、復旧状況等を確認しています。

(伊方発電所及び周辺の状態)

[事象発生時の状況]

原子炉の運転状況	1号機	廃止措置中
	2号機	廃止措置中
	3号機	調整運転中（出力98%） ・ 停止中
発電所の排気筒・放水口モニタ値の状況		通常値 ・ 異常値
周辺環境放射線の状況		通常値 ・ 異常値

(参考)

1 国への法律に基づく報告対象事象

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づき、国（原子力規制委員会原子力規制庁等）に対し、一定レベル以上の事故・故障等を報告することが義務付けられている。

国への法律に基づく報告対象事象に該当すれば、国際原子力機関が定めた評価尺度に基づき、7から評価対象外までの9段階の評価レベルが示されるので、異常の程度を判断する目安となる。評価対象外以下のものについては、安全に関係しない事象とされている。

2 県の公表区分

区分	内 容
A	○安全協定書第11条第2項第1号から第10号までに掲げる事象 （放射性物質の放出、原子炉の停止、出力抑制を伴う事故・故障、国への報告対象事象 等） ○社会的影響が大きくなるおそれがあると認められる事象 （大きな地震の発生、救急車の出動要請、異常な音の発生 等） ○その他特に重要と認められる事象
B	○管理区域内の設備の異常 ○発電所の運転・管理に関する重要な計器の機能低下、指示値の有意な変化 ○原子炉施設保安規定の運転上の制限が一時的に満足されないとき ○その他重要と認められる事象
C	○区分A，B以外の事項
PP	○核物質防護に影響がある事象

3 管理区域内・管理区域外

その場所に立ち入る人の被ばく管理等を適切に実施するため、一定レベル（3月間に1.3ミリシーベルト）を超える被ばくの可能性がある区域を法律で管理区域として定めている。原子炉格納容器内や核燃料、使用済燃料の貯蔵場所、放射性物質を含む一次冷却水の流れている系統の範囲、液体、気体、固体状の放射性廃棄物を貯蔵、処理廃棄する場所等が管理区域に該当する。

異常発生場所が管理区域の内か外かによって、異常の程度を判断する目安となる。

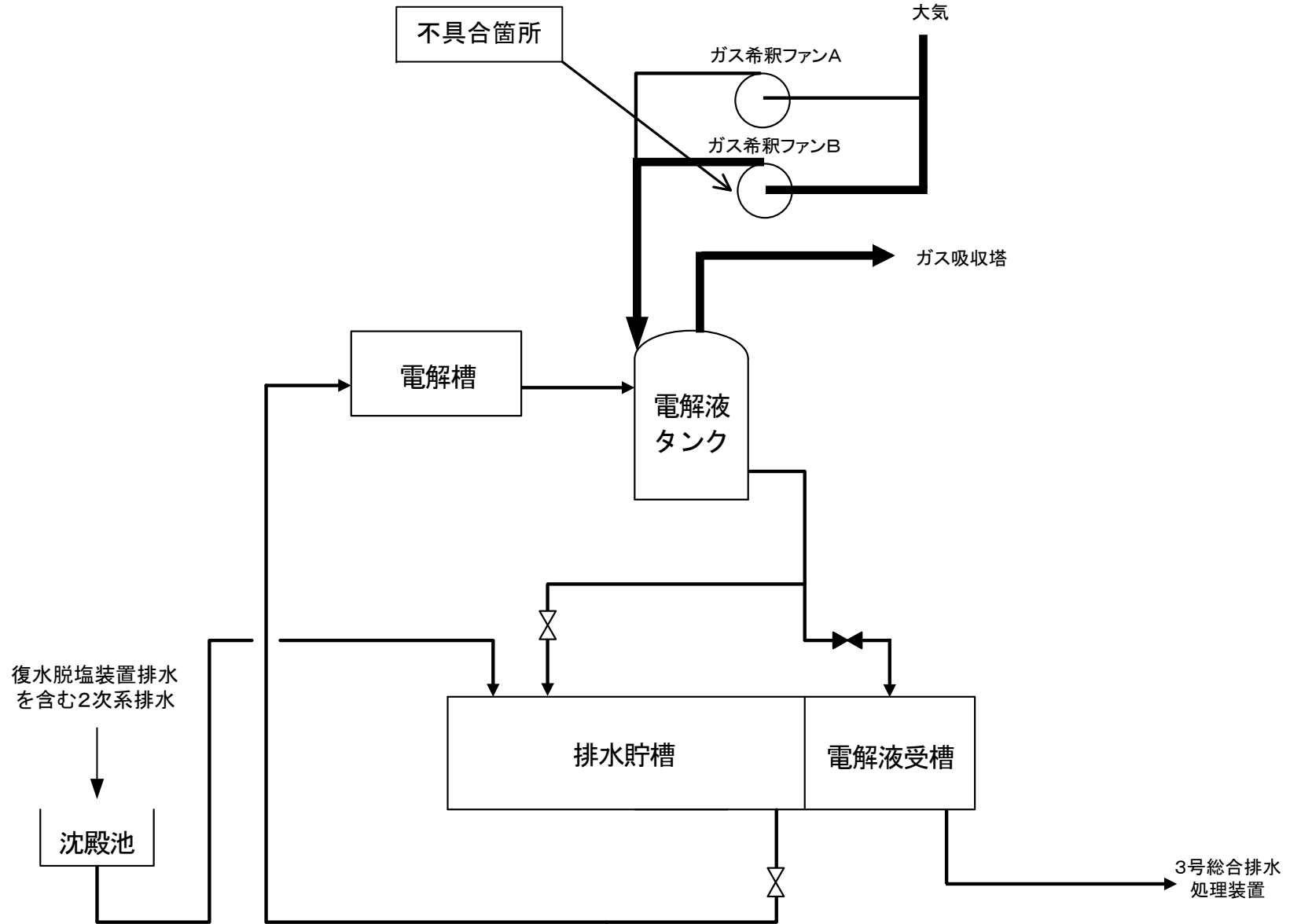
伊 方 発 電 所 情 報 (お知らせ)

発信年月日		令和 4年 1月 7日 (金) 11時 44分		
発 信 者		伊方発電所 池田		
当 該 機	号機 (定格出力)	1号機	2号機	3号機 (890MW)
	発生時 状 況	廃止措置中	廃止措置中	1. 出力875MWにて (通常運転・ 調整運転 ・出力上昇・出力降下)中 2. 第15回 定期事業者検査中
発 生 状 況 概 要		<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">設備トラブル</div> ・ 人身事故 ・ 地震 ・ 核物質防護 ・ その他		
		<p>1. 発生日時： 1月 7日 11時 10分</p> <p>2. 場 所： 伊方発電所 ETA排水処理装置建屋 (管理区域外)</p> <p>3. 状 況： 伊方発電所3号機は定期事業者検査にて調整運転中のところ、ETA排水処理装置で発生するガスを希釈するために設置されている2台のファンのうち、1台に異常があることを、本日11時10分、保修員が確認しました。 なお、本事象によるプラントへの影響および環境への放射能の影響はありません。</p>		
運 転 状 況		1号機：廃止措置中 2号機：廃止措置中 3号機：(通常運転・ <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">調整運転</div> ・出力上昇・出力降下・定検停止)中		
備 考				

伊 方 発 電 所 情 報 (お知らせ、第2報)

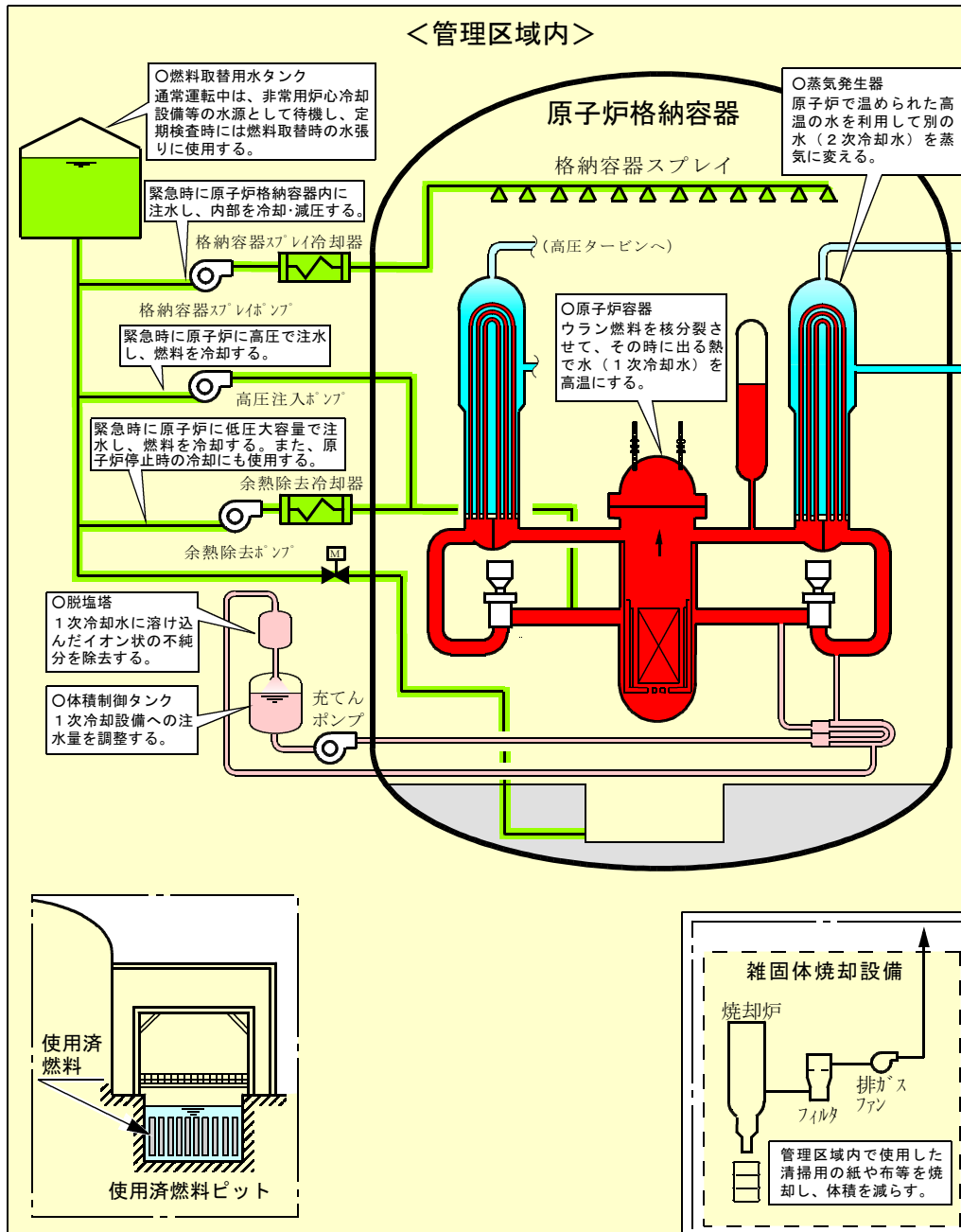
発信年月日		令和 4年 1月24日 (月) 17時 13分		
発信者		伊方発電所 池田		
当該機	号機 (定格出力)	1号機	2号機	3号機 (890MW)
	発生時 状況	廃止措置中	廃止措置中	1. 出力875MWにて (通常運転・調整運転・出力上昇・出力降下)中 2. 第15回 定期事業者検査中
発生状況 概要		設備トラブル ・ 人身事故 ・ 地震 ・ 核物質防護 ・ その他		
		<p>1. 発生日時： 1月 7日 11時 10分</p> <p>2. 場 所： 伊方発電所 ETA排水処理装置建屋 (管理区域外)</p> <p>3. 状 況：</p> <p>伊方発電所3号機は定期事業者検査にて調整運転中のところ、ETA排水処理装置で発生するガスを希釈するために設置されている2台のファンのうち、1台に異常があることを、1月7日11時10分、保修員が確認しました。</p> <p>なお、本事象によるプラントへの影響および環境への放射能の影響はありません。</p> <p style="text-align: right;">【第1報にてお知らせ済み】</p> <p>その後、調査の結果、当該ファンの主軸とプーリー※の接触面に摩耗が認められたため、当該ファンの主軸、プーリー※およびその他構成部品を取替え、ファンの試運転を行い問題ないことを確認し、本日16時57分、通常状態に復帰しました。</p> <p>引き続き詳細を調査します。</p> <p>※ファンの軸にモーターの動力を伝える部品</p>		
運転状況		1号機：廃止措置中 2号機：廃止措置中 3号機：(通常運転)・調整運転・出力上昇・出力降下・定検停止)中		
備考				

伊方発電所第3号機 E T A 排水処理装置系統概略図



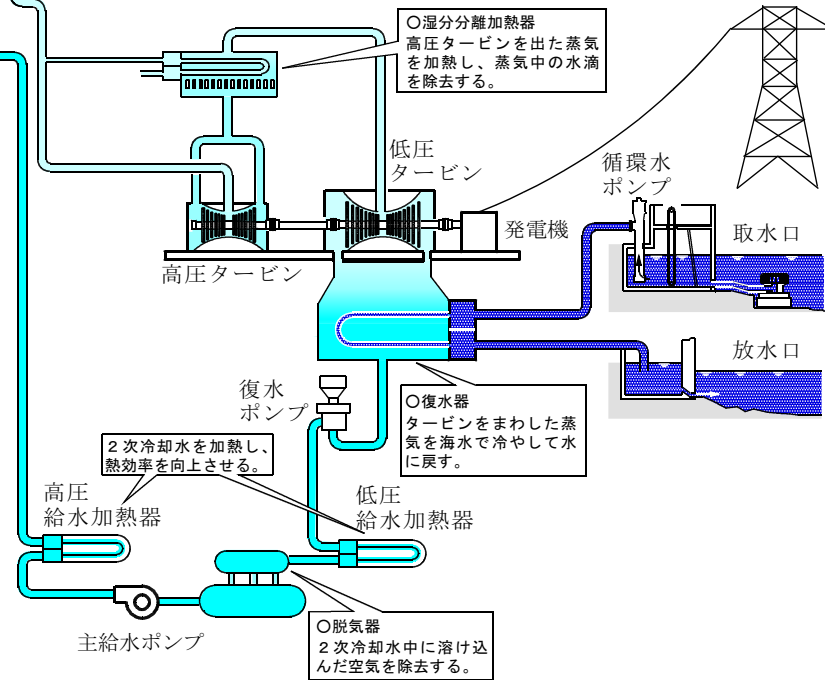
伊方発電所 基本系統図

今回公表



[凡例]

- : 原子炉で発生した熱を蒸気発生器に伝える設備（1次冷却設備）[放射性物質を含む]
- : 緊急時に原子炉等を冷やす設備（非常用炉心冷却設備等）[放射性物質を含む]
- : 1次冷却水の水質・水量を調整する設備（化学体積制御設備）[放射性物質を含む]
- : 蒸気発生器でできた蒸気でタービンをまわし発電する設備（2次冷却設備）[放射性物質を含まない]
- : 管理区域 [原子炉格納容器、使用済燃料等の貯蔵、放射性廃棄物の廃棄等の場所であって、その場所の放射線が一定レベル(3月間に1.3ミリシーベルト)を超える恐れのある場所 [実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第1条第2項第4号に規定]

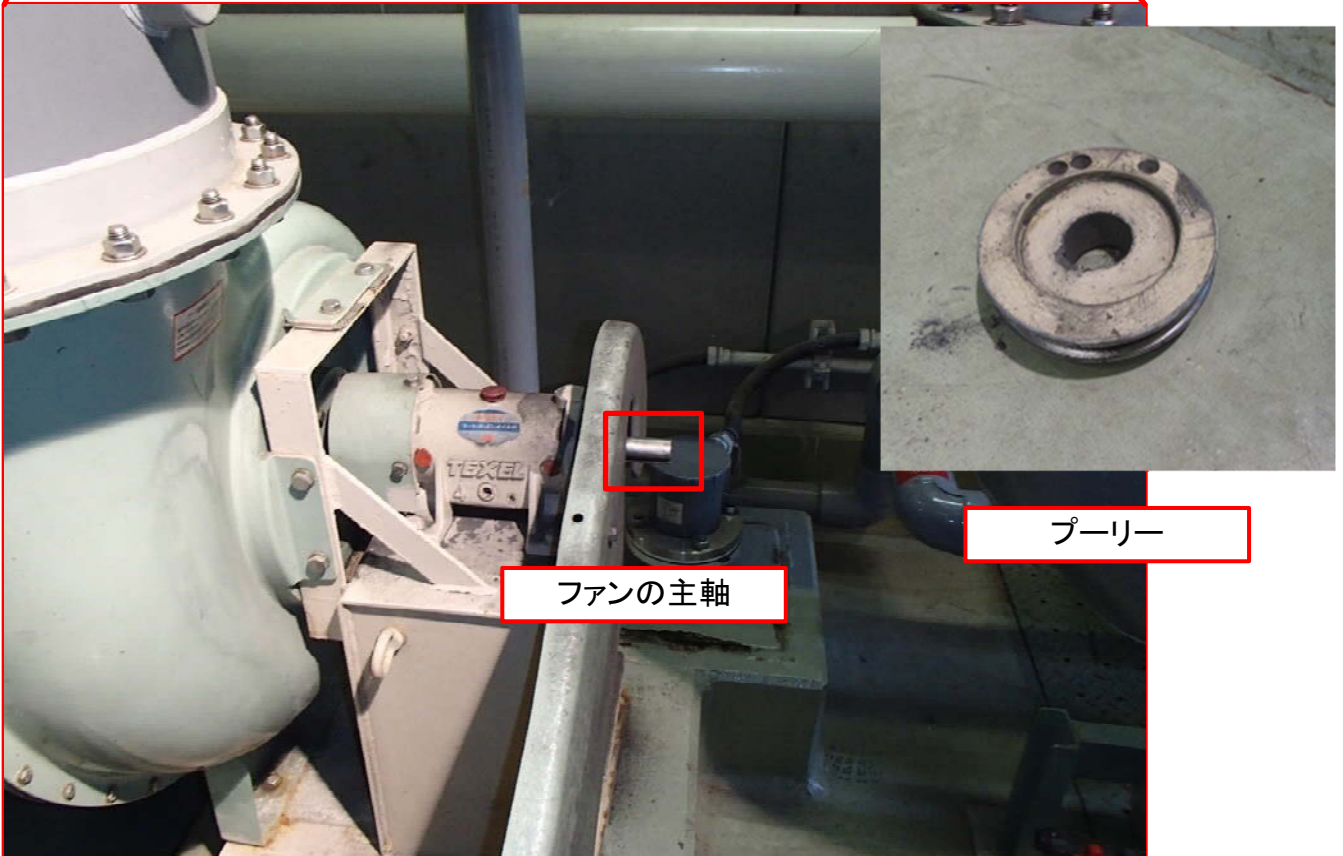
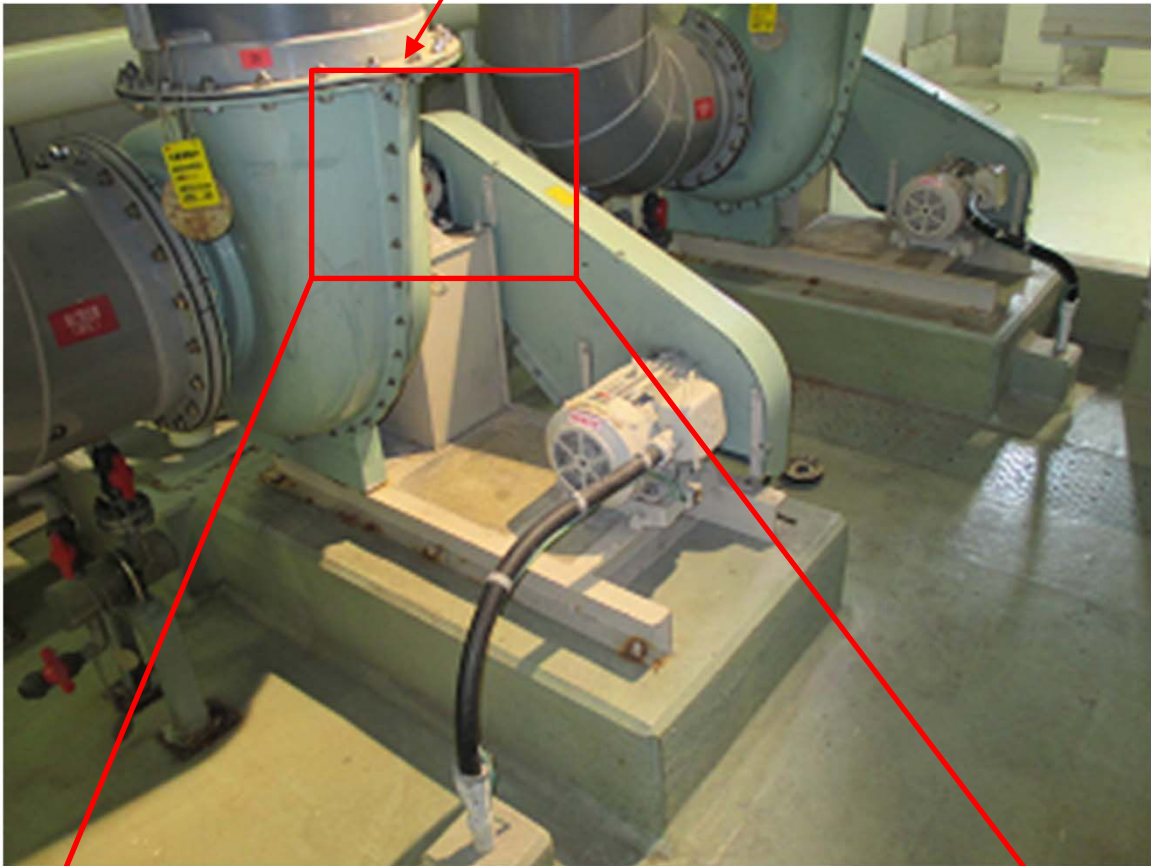


伊方3号機 エタノールアミン排水処理装置
ガス希釈ファンの不具合について (R4.1.7)

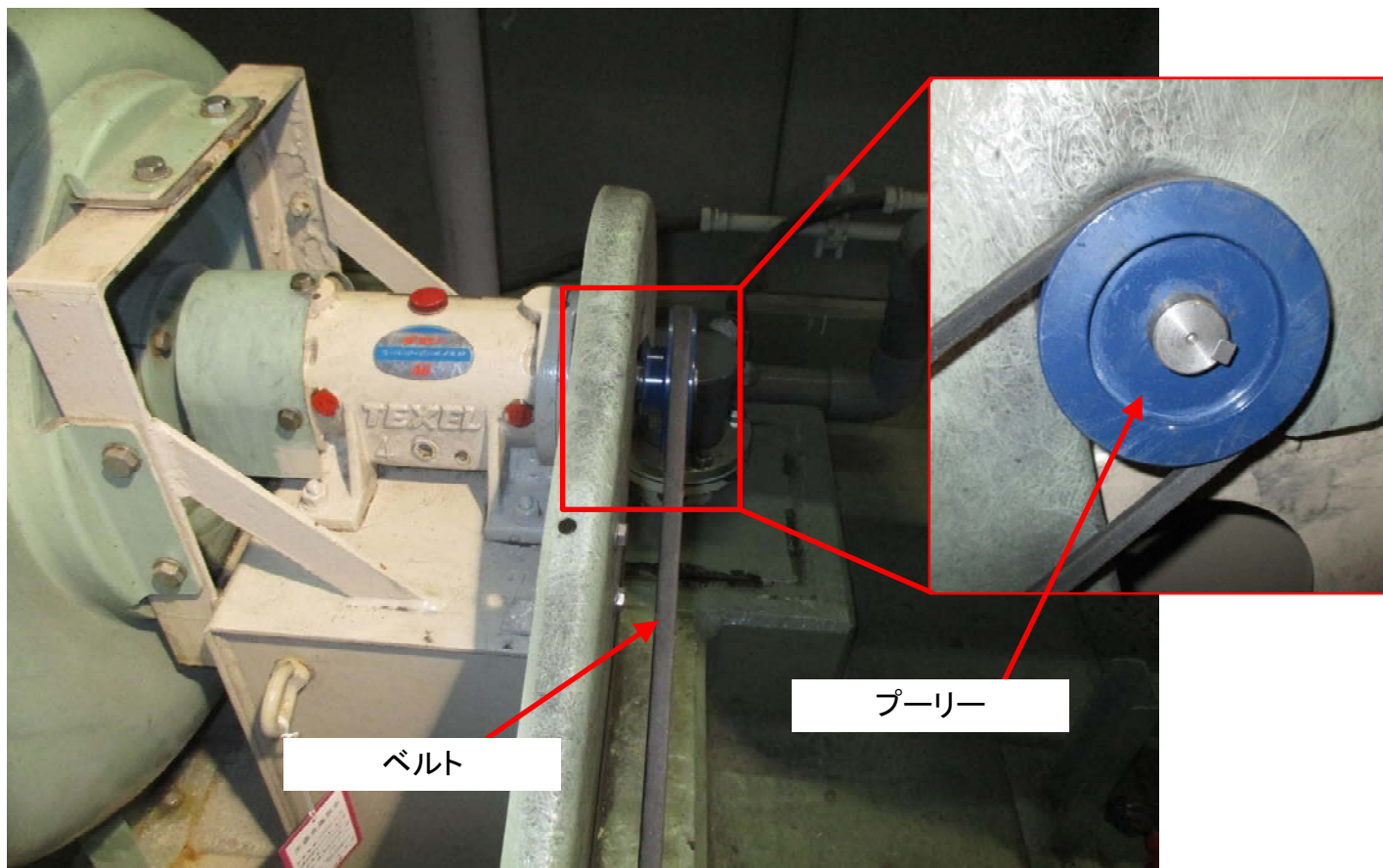
伊方発電所第3号機 E T A排水処理装置 ガス希釈ファンB (発生状況)

ガス希釈ファンB

不具合箇所



伊方発電所第3号機 E T A排水処理装置 ガス希釈ファンB (復旧状況)



用語解説

○エタノールアミン排水処理装置

2次系水（放射性物質を含まない）を浄化する復水脱塩装置からの排水中に含まれるエタノールアミンなどを処理する装置。

○エタノールアミン

配管の腐食抑制のための水質調整用薬品で、2次系水（放射性物質を含まない）に注入している。

○エタノールアミン排水処理装置ガス稀釈ファン

排水処理装置の電気分解過程において発生する水素ガスおよび塩素ガスなどをガス吸収塔に送り出すファンで、100%容量のファンを2台設置している。通常は2台とも運転しているが、1台運転でもETA排水処理装置の運転は可能。

○沈殿池

発電所の管理区域外で発生した復水脱塩装置排水等の2次系プラント排水や、手洗い・トイレ・食堂等の生活排水を処理した排水を貯留する設備。

○排水貯槽

沈殿池からの排水を受入し、電解槽へ移送、循環させることによりエタノールアミンなどを処理するための槽

○電解槽

排水を電気分解し、次亜塩素酸ソーダを発生させ、排水中のエタノールアミンなどと反応させて分解するための槽

○電解液タンク

電解液に含まれるガスを気相部と液相部に分離するためのタンク

○電解液受槽

エタノールアミンなどの分解が完了した処理水を受入し、後段の設備へ移送する槽

○総合排水処理装置

発電所の管理区域外（タービン建屋、事務所等）から排出される一般排水を浄化する装置。

○ガス吸収塔

排水処理装置の電気分解過程で発生したガスを除去する設備

周辺環境放射線調査結果 (県環境放射線テレメータ装置により確認)

令和4年01月07日 (金)

(単位：ナノグレイ/時)

測定局	時刻	測定値 (シンチレーション検出器)					平常の変動幅の最大値	
		10:50	11:00	11:10	11:20	11:30	降雨時	降雨時以外
愛媛県	モニタリングステーション (九町越)	18	18	18	18	18	46	19
	モニタリングポスト伊方越	19	19	18	18	19	54	20
	モニタリングポスト湊浦	24	24	24	24	24	46	25
	モニタリングポスト川永田	24	25	25	25	25	53	26
	モニタリングポスト九町	34	34	34	34	34	55	35
	モニタリングポスト大成	14	14	13	13	13	41	16
	モニタリングポスト豊之浦	25	25	24	24	24	53	26
	モニタリングポスト加周	26	25	26	26	26	61	28
四国電力(株)	モニタリングステーション	16	17	16	17	16	42	18
	モニタリングポストNo. 1	17	17	17	17	17	45	19
	モニタリングポストNo. 2	14	14	15	14	14	44	16
	モニタリングポストNo. 3	13	13	13	13	13	42	15
	モニタリングポストNo. 4	15	15	15	15	15	45	17

(注) 伊方発電所付近に設置しているモニタリングポスト等について記載

○ 降雨の状況：有・~~無~~

○ 伊方発電所の排気筒モニタ等にも異常なかった。

(参考)

1 環境放射線の測定値は、降雨等の気象要因や自然条件の変化等により変動するので、原子力規制庁の「平常時モニタリングについて (原子力災害対策指針補足参考資料)」に基づき、測定値を「平常の変動幅」と比較して評価しています。

「平常の変動幅」は、過去2年間 (令和元年度、令和2年度) の測定値を統計処理した幅 (平均値±標準偏差の3倍) としており、一般に、測定値が「平常の変動幅」の最大値以下であれば、問題のない測定値と判断されます。

2 環境放射線は線量(グレイ)で表されますが、一般的に、これに0.8を乗じて、人の被ばくの程度を表す線量(シーベルト)に換算しています。

例えば、線量率約20ナノグレイ/時の地点では、1年間に約0.14ミリシーベルト (ミリはナノの100万倍を表す) の自然放射線を受けることとなりますが、これは、胃のX線検診を1回受けた場合の4分の1程度の量です。

(放射線量の例)

